

# 新消防本部・古川消防署の実施設設計が完了しました



## 新消防本部・古川消防署 施設概要

【建設場所】	大崎市古川千手寺町二丁目地内(古川警察署向かい)		
【敷地面積】	11,984.68㎡		
【建物概要】	本庁舎	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造 (5階建て, 基礎免震)	延面積 4,786.26㎡
	車庫兼防災倉庫	鉄骨造(平屋建て)	延面積 492.80㎡
	主訓練棟	鉄筋コンクリート造(4階建て)	延面積 227.82㎡
	副訓練棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 (3階建て)	延面積 268.32㎡
		【主な付帯施設】	
		・自家用給油取扱所 (ガソリン・軽油各10kℓ)	
		・非常用発電設備 (地下タンク(6kℓ 72時間 容量))	
		・太陽光発電設備 (20kW)	

大崎地域の防災拠点施設として整備を進めている新消防本部・古川消防署の実施設設計が完了しました。

基礎免震構造の庁舎棟、車庫兼防災倉庫、訓練施設のほか、自家用給油取扱所、非常用発電設備などを整備するものであり、概要は記載のとおりです。

今後、平成31年4月の供用開始に向けて、本年6月から工事に着手する予定です。

【担当】  
消防本部管理課  
2021-9-2003 (施設整備担当)